

収集体制の見直しの検討状況について

新たな資源とごみの収集体制については、ごみの減量、CO₂ の削減、収集経費の適正化、働き方改革に即した体制を目指しており、「収集品目の変更」、「収集方法の変更」、「週の収集日数の変更」及び「収集頻度の変更」の4点の変更を中心に検討を進めています。

1. 検討内容について

【検討事項①】 収集品目を追加・・・プラスチックの分別収集

- ・ 容器包装プラスチック分別収集を市内全域で実施し、同時に製品プラスチック分別収集の開始も検討
- ・ 製品プラスチック、容器包装プラスチックを併せて「プラスチックごみ」として収集

☆背景・理由☆

- ・ 2022年4月にプラスチック資源循環法が施行され、プラスチックの分別収集、再商品化への取り組みが自治体に求められています。
- ・ プラスチックごみ減量推進は、第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画の重点施策として規定されています。

【検討事項②】 収集方法を変更・・・資源も家の前に出せるように

- ・ 集積所を廃止し、資源の戸別収集を開始（集合住宅を除く）
- ・ 小型家電は、拠点回収から戸別収集に変更

☆背景・理由☆

- ・ 超高齢社会を迎え、排出における負担の軽減を図ります。
- ・ 排出責任を明確化し、危険物混入による火災リスクを低減します。
- ・ 資源の戸別収集化は、第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画に則り検討します。

【検討事項③】 週の収集日数を変更・・・月曜日から金曜日の週5日収集に

- ・ 週6日収集（月～土）から週5日収集（月～金）に変更
- ・ 変更した場合、可燃ごみは月・木収集と火・金収集の2パターンに

☆背景・理由☆

- ・ ワークライフバランスの見直しにより働きやすい環境を整え、業務の人員を確保します。
- ・ 多摩 26 市中、町田市以外は全て週5日収集となっています。

【検討事項④】 収集頻度を変更…不燃ごみは月 1 回の収集に

- ・ 不燃ごみは 2 週に 1 回から月 1 回収集に変更
- ・ ビン、カン、段ボール、紙パック、雑紙は週 1 回から 2 週に 1 回収集に変更
- ・ 新聞、古着は週 1 回から月 1 回収集に変更

☆背景・理由☆

- ・ 収集の効率化により CO2 や事業費の削減を目指します。
- ・ 製品プラスチックの分別収集開始により不燃ごみの排出量は減少が見込まれます。
- ・ 市民アンケートの結果では、ごみ出しの回数は不燃ごみを毎回 (2 週に 1 回) 出す割合は 18.7%、古着は月 1 回以下が 78.2%となっています。

2. 今後の調査方法・項目

- ・ 事業者ヒアリング：準備に要する時間や課題など
- ・ 他自治体の現場視察：収集運搬時の効率化の工夫、課題など